

あなたの大切な未来をえらぶこと

それが村長選挙です

樋口は、高村文教(ふみのり)議員を積極的に支持します！

山中湖村の村長選挙は、11月23日が告示日、同28日が投票日と決まりました。

現在までの候補予定者として立候補を表明しているのは、高村忠久(ただひさ)議員と、高村文教(ふみのり)議員の二人です。

両名とも村議会の議員であり、多方面から「樋口議員は、どのような見解ですか？」という問い合わせがありますので、「村議ひぐちの見解」を述べたいと思います。

まず最初に、今度の選挙の意味合いと、二人の位置づけについて下の

樋口から見た、両候補予定者の村会議員としての印象
昨年四月から、樋口は村会議員として活動してきました。この度の村長選・立候補予定者お二人とも、村会議員です。樋口から見た両候補の印象を、ご紹介します。

高村忠久(ただひさ)議員について
まことに残念ながら、忠久議員とは一度も言葉交わしたことがなく(昨年6月の本会議流)の会議においても発言をされたという記憶がありません。立候補されるとわかっていれば、もっと意見交換をしておけばよかったと思っています。どうか、今からでも村政について真剣に語り合いたいと願っています。

高村文教(ふみのり)議員について
文教(ふみのり)議員については、「誠実」「勤勉」「実直」というのが第一印象です。議会活動の面では、全員協議会や予算説明会などの席で、積極的に発言しています。



議員は、観光協会副会長でもあるので、この点強く要請してもらいたい」と重ねて粘りました。残念ながら、結局原案どおりの予算となりました。(樋口も増額を要求しました)

① 何を選ぶのか？

＜朝次村政12年間の総括＞
○村民のために何を残したか？
・破綻寸前の村財政(山日新聞11.3参照)
・見放された観光地(観光客の減少)
・採算性の見えない観光施設(花の都)
・防災という名の自然破壊(ダム建設)
・独断専行の村行政(批判を許さない)

選択①: 12年間の評価

- A 評価して継続
・同じことの繰り返し
- B 村政の刷新
・良いものは評価
・問題点を刷新する

選択②: どうなる？ 今後の村政

- 何も変わらない
・経済の沈滞
・財政破綻の現実化
- 新しい村づくり
・財政の立て直し
・魅力ある観光地づくり

二人の立候補予定者は、上の表ではどんな位置づけにあるのでしょうか。

② 候補予定者二人の位置づけ

●高村忠久(ただひさ)議員
「朝次村長から『後継者』の推薦を受け、立候補を表明した。忠久氏は『高村(朝次)村政を継承していきたい』としている」
(朝日新聞 10月30日)
《樋口の見解》・朝次村政の継承者

●高村文教(ふみのり)議員
「村政刷新を願う住民の声に応えようと、立候補を決意した。深刻な村財政の建て直しと活力ある観光地を取り戻すため、全力で新しい村づくりに取り組んでいきたい」
日新聞11月1日)
《樋口の見解》・村民本位であり、将来への希望あり。

●平成16年度予算説明会の席上、「災害対策特別基金が計上されていないことを指摘」
「災害発生時に対応する」などとの総務課長答弁に対し、「基金積み立ては、条例で決まっているのではな

印象に残る5つのエピソード
●昨年12月決算議会での監査報告は、村財政の現状を正しく認識し、当局に対して厳しい指摘をしています。(村民かわらばん10号を参照)
●全員協議会の席で、村長のあいまいな答弁に対し、「村民の代表として質問しています。明確に答えていただきたい」と再質問し、村長は二ガリ顔でした。

今の状態を冷静に見てみると、「これから4年間がどうなるのか？」ということとはそっちのけで、「あっち派」とか「こっち派」とかいつて、まるで「選挙ゲーム」をしているようです。
「もう決めた人」も、「まだ決めていない人」も、加熱したゲームをちよっとストップし、冷静にこれからの4年間を想像してみてください。

いい村への変革は リーダーの政策と あなたの勇気と良心です

●議員間選出の監査員として、毎月定期監査を規定どおり行っています。同時に観光振興公社などの運営に対し、具体的な提言をして公社の合理的運営を促しています。

いかにと指摘し、予算に組み込ませました。
●同じく予算説明会の席上、観光協会への補助金が650万円から500万円に減額されたことを厳しく指摘し、「観光立村として観光協会の行っている事業を積極的に支援すべきである」と観光協会への補助金を増額予算修正するよう要求。
しかも「天野凱弘議員は、観光協会の副会長でもあるので、この点強く要請してもらいたい」と重ねて粘りました。

お知らせ

「いい村づくりへの対話集会」を開きます
(候補予定者もご参加ください)

- 11月14日(日)夜7時から
- 山中公民館(山中郵便局の奥)

根拠のない不安情報が飛びかっているようです。どうか惑わされないようにしてください。直接問い合わせいただければ、ハッキリお答えします。

良心に恥じない選択を 近隣市町村も注目する山中村長選

今回の村長選は、山中湖村は当然のこと、近隣市町村の方々も非常に注目しています。
「山中湖村の選挙は50年遅れている」とか「あれじゃあ、山中湖村は変わらないよナ」と、近隣市町村の方々からよくいわれます。
どういう意味なのかを聞いてみると、次のような問題点が指摘されました。
○村民自身が「村を変えよう！」という意識がうすいこと
○親戚や知人などに、一方的に頼まれて「自分の意思で判断ができない」こと
○普段は村政について批判しているのに、周りを気にして付和雷同していること
………などです。これって、恥ずかしいですよ？
今回の村長選挙は、あなたの後悔しない4年間(未来)を選択することです。